

起業家大賞に2プラン

生薬産地化 環境負荷軽減技術

静岡銀 70周年

静岡銀行は1日、創立70周年を記念して創設した「しずぎん起業家大賞」の審査結果を発表し、最優秀賞に成長が見込まれる生薬原料市場に薬用植物を供給する薬善（牧之原市、河原崎勝弘代表）と、環境負荷軽減技術を開発したイノベータータイプ・デザイン&テクノロジー（浜松市浜北区、田中博代表）を選出した。同行は応募者すべてのプランに対して事業化を支援するとしている。

「スタートアップ部門」で最優秀賞を獲得した薬善は薬用植物栽培の普及に取り組み、農閑期を活用した茶業関係者らの収益改善策として産地化を目指す。「グロース部門」で受賞のイノベータータイプは、プラスチック成形の冷却パイプの中の（最優秀賞300万円）のほかに、セミナーへの無料参加や販路開拓支援などのバックアップが受けられる。他の応募者に対しても支援機関の紹介などさまざまなサポートを行う。

優秀賞は次の通り。

創業前部門	ウェル
市中区	ビーフードシステム
静岡市清水区	静岡中部金属企業協同開発
スタートアップ部門	オプトメカトロ
浜松市中区	EUBS
静岡市駿河区	▽グ
ブルック	マンテックノロジ
浜松市中区	

20階建て新本部棟 起工 静岡銀



静岡銀行の新本部棟完成予想図

静岡銀行は創立記念日の1日、70周年事業として建設する新本部棟の起工式や植樹など記念事業を行った。中西勝則頭取は「素晴らしい地域に育まれて70周年を迎えることができた。顧客や先輩に感謝し、これからも地域とともに歩んでいきたい」と語った。

静岡市清水区の同行で行われた起工式には関係者が工事の安全を祈った。新本部棟は地上20階建て。南海トラフ巨大地震にも対応できるように事業継続体制を強化する。2014年10月に完成予定。

記念植樹は、中村彰宏専務らが駿府城公園に桜の苗木を植えた。同行は1943年3月1日、静岡三五銀行、遠州銀行が合併して設立した。